



# 1. 癌診療施設拡張事業

1. 事業名: 癌診療施設拡張事業

2. 事業主: 東方研究所

3. 所要資金: 8,324,000

4. 事業概要

a. 国民保健向上을 위한 癌診療施設拡張事業은 癌의 早期発見과 早期治療를 期한으로 하여 癌患者의 発生을 予防하고 이의 早期治療를

癌을 根絶하기 위한 事業인

b. 癌으로 인하여 年間死亡者數는 三万乃至四万명에

達하고, 그 중 胃癌에 의한 것이 30%를 占有

하고 있음. 胃癌의 発生은 40才以上에서 增

加發하고 있는 바 이는 口食的으로 인하여

으로 인하여 胃癌의 中核的인 治療期인에 비하여

癌의 治療는 時急함

C. 癌<sup>의</sup> 治療<sup>에</sup>는 早期<sup>發見</sup>이 가장 重要<sup>한</sup> 바  
 本<sup>機</sup>材<sup>를</sup> 導入<sup>하여</sup> 全<sup>日</sup> - 丹<sup>을</sup> 巡<sup>回</sup>하여  
 診<sup>斷</sup> 및 事<sup>前</sup> 治<sup>療</sup>을 實<sup>施</sup>할

4. 主要<sup>機</sup>材

a. Survey car for Stomach mass survey  
 X-ray unit with installed: 8 sets

~~b. films etc.~~

Others.

( 自<sup>動</sup>車 8 台 - - 設<sup>置</sup> 機<sup>器</sup> )  
 卷<sup>兒</sup>  
 18 卷

2.

1. 事業名 : 崧山職業學校 實驗 實習 施設

國立

2. 事業主 : 崧山職業學校 (1967. 3. 11 創校)

3. 所要金額 : ~~112年撥~~ 約 20 万 8 千 程 後  
(307 万)

4. 事業概要

本校は 國家産業發展の 奇功を得る ために  
技術工の 養成輩出を 目的として 設立した  
3年制 職業学校 である (入学資格 中学校 卒業生)

國內工業系 高等学校の 實驗 實習の 所期の  
目的を 達成する ため、實驗 實習 爲主の  
教育課程の 依據 運営 である。

① 教育課程

週当 44 時間

实验 - 24 時間  
教授理論 - 12 〃  
教科科目 - 8 〃

この校は 5 年 (建設) はある  
政府

2  
4). 编制

机械科 2学級 60名

電気 " 1 " 30 "

配管 " 1 " 30 "

自動車修理 " 1 " 30 "

(上は  
冷房)

計15学級 450名

5. 主要機材

1) 現在<sup>までの</sup>の施設概要

FY67<sup>から</sup> 70年<sup>までの</sup>現在<sup>までの</sup>は特資金2億<sup>円</sup>を投資<sup>して</sup>  
3基<sup>の</sup>余坪<sup>の</sup>校地<sup>に</sup> 1800余坪<sup>の</sup>建物を完成<sup>して</sup>

内部施設<sup>の</sup> 全体<sup>に</sup>対<sup>して</sup>の 60% 程度<sup>を</sup>確保<sup>して</sup>いる

2) 10万<sup>円</sup>相当<sup>の</sup>投資<sup>内容</sup>

機械科、電気科、配管科、自動車修理科<sup>の</sup> 実習器具

に至<sup>る</sup>が、<sup>に</sup>対<sup>して</sup> 計器類、試験器類<sup>の</sup> 不足<sup>を</sup> 実習<sup>に</sup>  
踏込<sup>を</sup> 感じ<sup>て</sup> いる

3.

## 梁山江流域 開發 調查

1. 事業名: 梁山江流域 開發 調查 事業

2. 事業主: 水資源 開發 公社

3. 所要金額: 820,000

### 4. 事業 概要

本 調查 事業은 1968~1971년 까지 進行 되는 事業으로, 梁山江流域 全體의 農村 農地 造成, 灌溉, 排水 改善 等, 梁山江水系를 一貫 的 綜合 的인 流域 全盤의 水資源 及 土地資源의 利用에 關한 綜合 開發 計劃을 樹立하여 国土 綜合 建設 計劃의 基本 資料를 提供하는 事業인.

5. 主要規材

- a. 全流域調查<sup>BW</sup>及流域綜合開發計劃書  
作成
- b. 技術者訓練
- c. 調查用採資材
- d. 水理模型實驗